

令和3年度 事業所職員向け 児童発達支援自己評価表

事業所名：PARKすくすく

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○		十分にスペース確保出来ている。
	②	職員の配置数は適切であるか	○		十分に配置しており個別対応が出来ている。
	③	生活空間は、本人わかりやすく構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	○		児童の特性や身体的なことを配慮した構造となっている。ホワイトボードやパーテーションを使い視覚的にも配慮を行っている。
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	○		毎日の消毒、清掃など徹底している。活動に合わせて、個室とフロアとを効果的に使っている。
業務改善	⑤	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	○		事業計画に基づく目標設定と、サービス実施後の振り返り、月1回の連絡会による振り返り等、広く職員が参画して行っている。
	⑥	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○		実施出来ている。
	⑦	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○		実施出来ている。
	⑧	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか		○	今年度は実施なし（以前、実施済み）
	⑨	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○		サービス推進課や医療センターの研修。作業療法士からの指導、助言を受けている。同じ児童分野の職員による集合研修、相互研修を行っている。
適切な支援の提供	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	○		作成している。
	⑪	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○		すでに使用してはいるが、現在よりもより良いものに改定を行っている。完成次第、分野別でも共有し標準化を徹底する予定。
	⑫	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び行く支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	○		設定されている。
	⑬	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	○		行われている。都度の振り返りにより確認も行われている。
	⑭	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○		振り返りとアイデアの共有を行い、チームとしての立案を行っている。
	⑮	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○		振り返りを元に改善を行っている。
	⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか	○		個別と集団のメリットを見ながら組み合わせて実施している。
	⑰	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○		その都度行っている。
	⑱	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○		その都度行っている。
	⑲	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○		記録の徹底と役職者による確認、助言など行っている。
	⑳	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	○		行っている。
	㉑	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○		児童発達支援管理責任者が参画している。モニタリングの前に各職員からの意見集約も行って会議に反映させている。

関係機関や保護者との連携	②②	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	○		相談支援事業所との連携や保育園のアンケート実施を大なっている。
	②③	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか		○	医療的ケア児は支援していない。
	②④	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか		○	医療的ケア児は支援していない。
	②⑤	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか		○	実施できていない。保護者を通じての話はあるが、関係機関との直接的な繋がりがまだ弱い。
	②⑥	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか		○	進路については保護者中心で行っており、事業所して介入することがない状況。
	②⑦	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○		受けている。
	②⑧	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか		○	機会がなく実施できていない。
	②⑨	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	○		参加している。
	③⑩	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○		利用の前後に実施している。
	③⑪	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか	○		助言を行っている。
保護者への説明責任等	③⑫	運営規定、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○		契約時に行っている。
	③⑬	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	○		同意を得ている。
	③⑭	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○		モニタリング時に実施。サービス利用の前後に時間を設けたり、プログラムに参加してもらってその場での助言を行ったりしている。
	③⑮	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか		○	コロナの影響で開催はないが、見学はいつでもできるようにしている。
	③⑯	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○		対応している。
	③⑰	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか		○	会報の発行はできていないが、電子記録にてその日の支援の様子をタイムリーに情報開示している。
	③⑱	個人情報の取扱いに十分注意しているか	○		注意している。
	③⑲	障害のある子どもや保護者との意思疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○		アセスメントを十分に取った上で特性に応じて配慮をしている。
	④⑩	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		○	コロナの影響もあり地域交流が実施できていない。
非常時等の	④①	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	○		実施している。
	④②	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○		実施している。
	④③	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	○		契約時にアセスメントを取っている。保護者からの情報を宇キャッチし随時更新している。プロフィール更新を定期的に行っている。
	④④	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされてるか	○		上記同様。

対応	④⑤	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○		アプリにて一覧で見られるようにしており、気になる例については朝礼や連絡会にて共有、対策を話し合っている。
	④⑥	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○		定期的に研修を行っている。支援の振り返りとして不適切な支援が自分と周りでなかったかの現状把握も行っている。
	④⑦	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	○		身体拘束を行わないことを原則としているが、やむを得ない場合についての共有や、その場合は支援計画に記載と同意が必要であることを徹底している。

令和4年2月14日公表

○この児童発達支援自己評価表は、児童発達支援センター又は児童発達支援事業所の職員の方に、事業所の自己評価をしていただくものです。「はい」、「いいえ」のどちらかに「○」を記入するとともに、「工夫している点」、「課題や改善すべき点」等について記入してください。